

平成 18 年度末の汚水処理人口普及率がまとまりました。その結果、**岩手県は 67.3%**、対前年度比 2.5 ポイント増となりましたが、**普及率は全国で第 34 位、東北では第 4 位**と、全国では依然として立ち遅れている状況にあります。

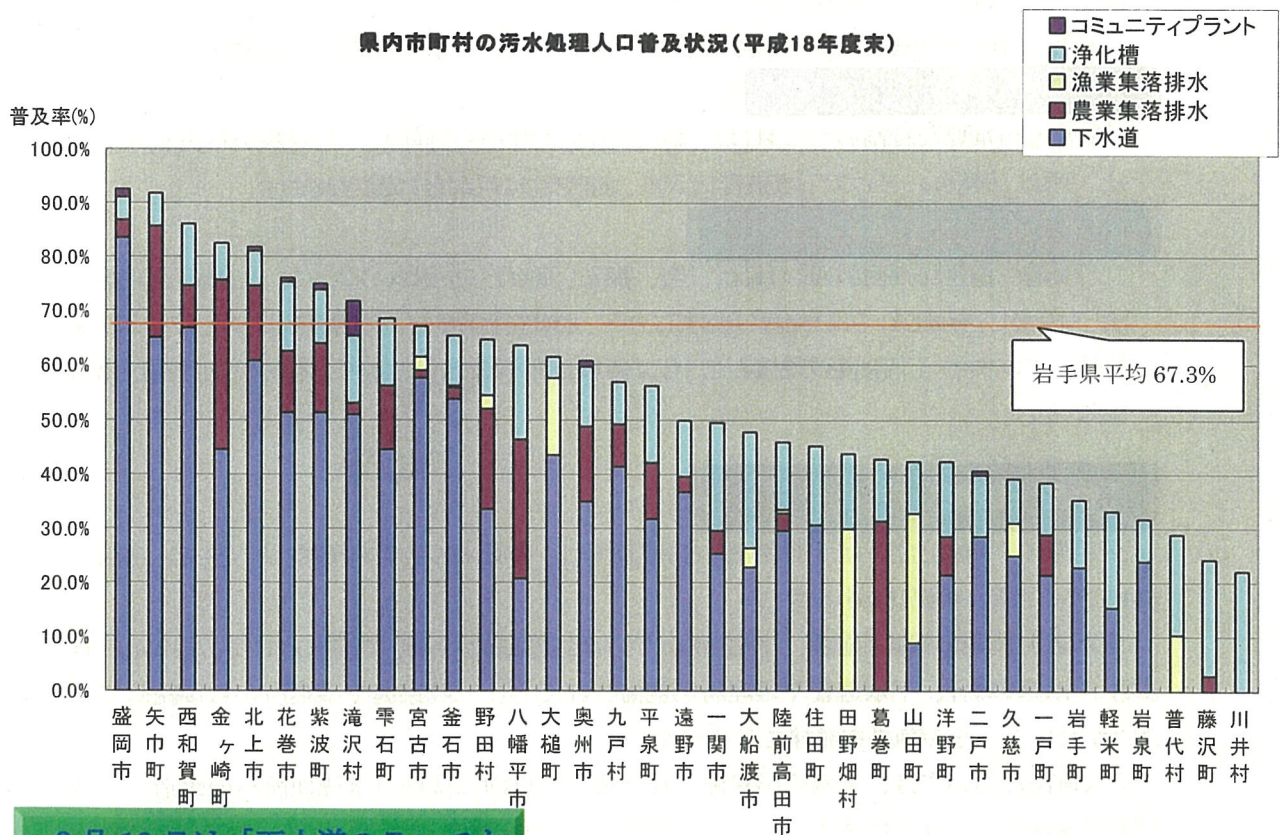
本県では、平成 18 年度末現在、人口 137 万 7,666 人（住民基本台帳人口）のうち、92 万 6,911 人の方が、汚水処理施設を使える状況です。市町村別では、最も整備が進んでいる市町村は盛岡市の 92.6%で、次いで矢巾町 91.7%、西和賀町 85.9%、金ヶ崎町 82.4%、北上市 81.6%の順となっています。

汚水処理といっても方法は様々あり、下水道人口普及率が 48.1%、農業集落排水人口普及率が 6.9%、漁業集落排水人口普及率が 1.1%、浄化槽人口普及率が 10.4%です。

また、汚水処理ができる中で水洗化（接続）が済んでいる割合は、汚水処理全体の 84.4%です。

汚水処理人口普及率は 18 年度末計画 68.6%に対し、実績 67.3%と若干計画を下回りました。平成 22 年度 80%の目標達成に向けて、コスト縮減を含めた様々な対策に取り組んでいきます。

県内市町村の汚水処理人口普及状況（平成18年度末）



9月10日は「下水道の日」です

多くの人に下水道のことをもっと良く知ってもらうために「下水道の日」を定め、毎年全国各地で様々なイベントを行っています。

財団法人岩手県下水道公社では、9月8日（土）都南浄化センター（盛岡市東見前3-10-2）において、「下水道フェスタ'07」を開催します。

下水処理場の見学会やスタンプラリー、記念品プレゼントなど趣向を凝らしたイベントを用意し、皆様のお越しをお待ちしております。

【<http://www.isf.or.jp/festa/festa.htm>】

